

琴海文化センター

「秋の講座」映画会について

【説明】

琴海文化センターには定員406名の階段状の座席を配置できる大ホールがあります。ここでの映画会は、映画館の雰囲気を楽しむことができます。

令和7年度は4月を除いて、毎月第1水曜日の午後に映画会を開催します。「秋の講座」では、邦画3本、洋画1本を上映します。

○参加料はなしです。

○定員は基本的にありません。(定員406名の大ホール)

○事前申込み不要(上映開始前に来てもらえば大丈夫です。)

○無料駐車場有(約60台)

【琴文映画会・上映作品】

9月3日(水) 13時30分から15時30分

「こはく」

監督・脚本は長崎出身の横尾初喜監督、主演は井浦新
幼いころに失踪した父親を長崎で探す2人の兄弟の人間ドラマ。オール長崎ロケで作成されました。共演の大橋彰(アキラ100%)が職に就かない虚言癖のある主人公の兄役を好演しています。「家族」を知り「愛」を知る感動作品です。



琴海文化センター大ホール

10月1日(水) 13時30分から15時30分

「ぼくたちの交換日記」

監督は内村光良 伊藤淳史、小出恵介のダブル主演
売れないお笑いコンビが互いの本音をぶつけるために交換日記を始める。そして、本音を語り合った2人が、再び夢に向かって走り出す。
共演には、長澤まさみや川口春奈など俳優の他、多くのお笑い芸人が出演していることも話題となりました。原作は人気放送作家鈴木おさむの「芸人交換日記 イエローハーツの物語」です。

11月5日(水) 13時30分から15時30分

「天使のいる図書館」

主演は小芝風花 共演には今年の大河ドラマで活躍した横浜流星
美しい自然の奈良県葛城地方を舞台に、大学卒業後に図書館司書として着任した主人公が、おおらかで純朴な地元の人たちとの交流を通して成長していく姿を描いた、心温まる作品となっています。

※上映日の前後は読書週間(10/27-11/9)です。

12月3日(水) 13時30分から15時30分

「アルジャーノンに花束を」

ダニエル・キースのSF小説の映画化作品 日本でもテレビドラマとして制作され高評価を得ました。(2002年主演ユースケ・サンタマリア、2015年主演山下智久)

知的障害者の主人公が受けた実験的治療の成果とそのあとに生じる葛藤を描いた作品です。今回の上映作品は、フランス・スイスの合同制作で主人公名などをアメリカの原作とは違うものにするなど一部脚色をしています。

【さざなみ映画会・上映作品】

11月21日(金) 13時30分から15時00分

「超恐竜伝説」 ※さざなみ映画会(琴海形上町)の集会室上映

NHKの人気生物ドキュメンタリー番組「ダーウィンが来た」の映画化作品です。NHKと国内のトップクリエイターが最新の研究を基にリアルな恐竜時代をCGで再現しています。番組ナレーターは田辺誠一と大塚寧々夫妻です。昨年度の公民館講座「じいじ・ばあばのための恐竜講座」で恐竜に興味を持たれた方にはお勧めの映画です。

※映画は集会室の壁に投射します。椅子はパイプ椅子となります。